

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

長崎 雅子議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 生山駅のあり方について</p> <p>① みどりの券売機が使いにくいとの意見があります。例えば、生山から仙台間のような長距離の切符の購入ために、オペレータと通話しようとする繋がるのに20分程度かかります。また、サンライズ出雲の切符が買えません。町長の認識はいかがですか。</p> <p>② 売店のシャッターが閉まっており、いかにも寂しい気がします。売店の再開はできないでしょうか。</p> <p>2. 子育て支援センターについて</p> <p>① 子育て支援センターは未就学児と児童が一緒に過ごしていますが、未就学児の睡眠の確保のため児童の活動を制限せざるを得ない状況となっています。児童専用のウッドデッキを設置できないでしょうか。</p>	<p>1.</p> <p>① JRに確認したところ、券売機のオペレータを増員するなどの努力はされていますが、混雑時には依然として、繋がりにくい場合があることから、引き続き、体制の拡充に努められるとの回答でした。また、サンライズ出雲の切符は、オペレータを介することで、生山駅の券売機で全ての席の購入が可能です。</p> <p>② 従来の形態とは異なりますが、売店スペースを利用して、山里Loadにちなんによる観光案内や、券売機の利用サポート等を来春から開始し、生山駅の利便性の向上を図るよう計画をしています。</p> <p>2.</p> <p>① 放課後児童クラブについて、現在は対象を6年生までとしています。開設当初は3年生までを対象としており、施設が手狭になっていることは把握しています。今後、社会福祉協議会と状況把握、利用方法を含め検討していきます。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

古川 貞美議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 新病院の規模と構想について</p> <p>① 将来的に人口が現在の半分程に減少するのであれば、60床～75床もの病床は多すぎるのではないのでしょうか。</p> <p>② 医師や専門職の確保はできるのでしょうか。</p> <p>③ 新築だけでなく、現病院の除去にも多くの費用がかかると思います。規模を小さくしたら、費用も少なくできるのではないのでしょうか。</p>	<p>1.</p> <p>① 病床数は、将来推計患者数だけでなく、将来的には一部の病床を介護の受け皿として転換することや、病院の収入面などを総合的に勘案して設定されたものであり、妥当なものと考えています。</p> <p>② 医療人材の確保は全国的に厳しい状況にありますが、日野郡内や自治体病院などとの連携強化や働き方改革など病院の魅力化などを進め、最大限取り組んでいきます。</p> <p>③ 地域医療の要である日南病院は、安心安全に暮らし続けられるまちを創る上で不可欠な存在であり、適正規模となるよう、町財政とも均衡を図りながら、現在検討を進めているところです。</p>
<p>2. 日南町の介護サービスについて</p> <p>① 介護施設（あかねの郷）の待機者は何人でしょうか。</p> <p>② これから団塊の世代の介護をする人が増えると予想されますが、受けたい人が受けたい時に介護サービスを受けることができるのでしょうか。どのような施策を考えておられますか。</p> <p>③ これからは、施設介護から在宅介護が主流になると言われていますが、この対策をどう考えておられますか。</p>	<p>2.</p> <p>① 10月25日時点で43人です。</p> <p>② 介護サービスの安定した提供において、サービスを支える人材不足が課題となっています。その対策として、介護職の魅力発信や職員の処遇改善、奨学金制度など町内での福祉人材の育成、確保、養成に町としても民間と連携して支援しています。</p> <p>③ ご本人が望む在宅生活の実現のために、訪問介護や通所介護などの介護サービスの充実に向けて、人材確保を中心にこれからも取り組んでいきます。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

塩見 真由美議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 管理者のいない土地について</p> <p>① 不在地主が土地を管理せず、草が伸び放題になっているところが増えています。近所の人々が、草刈りをしている場合もあり、負担がかかっています。不在地主に管理責任はないのでしょうか。</p> <p>② 高齢化により、管理できない土地が増加しています。管理できない土地から草が生え続け、野生動物の出没も心配されています。草刈りのサポートはできないものなのでしょうか。</p> <p>2. ごみ処理について</p> <p>① ごみの種類が多すぎて、分別方法がまだわかりにくい部分があると思います。充実した研修のようなものを開いてはどうでしょうか。</p> <p>② 実際に分別したものがどのように再資源化されるか理解できれば、住民の分別意識の向上に繋がるのではないのでしょうか。具体的に成果をみせてはどうでしょうか。</p> <p>③ 財政負担の視点から、なぜ可燃ゴミを減らさなければならないかを考えることで分別について理解が深まるのではないのでしょうか。</p>	<p>1.</p> <p>① 土地基本法に、土地の利用、管理、取引を行う責務は土地所有者にあると規定されていますので、不在地主に草刈りなどの管理責任があるものと理解しています。</p> <p>② できることなら親戚縁者や隣近所での助け合いにより解決いただきたいと思います。また協や集落協定による取組など地域全体の共助による解決も期待します。町は地域の皆さんと一緒に被害の未然防止や負担軽減に取り組んでいきます。</p> <p>2.</p> <p>① 近年、開催実績はありませんが、地域やグループなどで希望があれば説明会を開催しています。今後、更なるPRを行っていきます。</p> <p>② 現在、具体的な再資源化の成果についての周知は十分とは言えません。ご指摘のとおり、分別の周知と併せて行っていきます。</p> <p>③ 本年度から、可燃ごみの減量を強化しており、財政的視点からの啓発にも、是非、取り組んでいきたいと思えます。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

矢吹 かおり議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 移住者にとって安心して子育てができる環境について</p> <p>① 新しく町に移住してこられた方が、地域に溶け込み易くなるためのサポート体制について現状と考えを伺います。</p> <p>② 移住してきた女性の働き方について、子育てのサポートをしてくれる方と、サポートを求めている方のマッチングができないでしょうか。また、子どもが突然に体調が悪くなるなど不測の事態でも柔軟に働ける事業所のリストは作れないか伺います。</p> <p>③ 室内で思いっきり身体を動かせる施設と公園ができないか伺います。</p>	<p>1.</p> <p>① 移住希望者の相談対応は、現在、山里Loadにちなんが窓口となり、毎月交流会を開催するなど、移住後のサポートも担っています。今後も、移住後のフォローアップや、地域と移住者を繋ぐためのより良い仕組みづくりを検討していきます。</p> <p>② マッチングについては、ファミリーサポートセンターで行っているのでご相談いただきたいと思います。また、リストの作成については事業所ごとに把握することは難しい状況です。事業者には、引き続きご理解とご協力をお願いしたいと考えています。</p> <p>③ 室内での遊び場については、現在こどもゆめ基金運営委員会で検討しています。公園については保護者からも多くの声が寄せられており中心地整備計画策定委員会内で前向きに検討していきます。</p>